

2025 年 3 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の間に 附属病院において入院治療を受けられた方及びご家族の方へ

「入院患者の転倒・転落要因の検討」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学附属病院	身体拘束最小化チーム	看護主任	上原 和也
研究分担者	川崎医科大学附属病院	身体拘束最小化チーム	看護師	池田 暁子
	川崎医科大学附属病院	身体拘束最小化チーム	看護副主任	中山 愛子
	川崎医科大学附属病院	身体拘束最小化チーム	看護主任	坂口 佳織
	川崎医科大学附属病院	臨床心理センター	臨床心理士	谷 英俊
	川崎医科大学附属病院	身体拘束最小化チーム	看護師長	木村 純代

1. 研究の概要

転倒・転落は、高齢の方が介護を必要とする原因の一つです。入院中に転倒・転落が起こると、骨折や頭のけがにつながる場合があります。また、入院期間の長期化や、医療費の増加、退院後の生活に影響が出ることも少なくありません。そのため、入院中の転倒・転落を防ぐことは、患者さんやご家族、病院においても大切な課題と考えております。

当院では、転倒・転落の危険性を確認するための評価を定期的に行い、危険性が高いと考えられる患者さんには、転倒・転落による重大なけがを防ぐために予防対策や対応を行っています。また、病院全体の取り組みとして、注意が必要な内容をわかりやすい表示や環境調整、多職種で構成される身体拘束最小化チームによる定期的な見回りを行っています。

これまでの研究では、転倒・転落に関係する要因として、年齢、体を動かす力の低下、持病、薬の影響など、患者さん自身の状態に関するものが報告されています。また、ベッドの周りの環境なども関係するといわれています。一方で、身体的拘束の実施状況や、見守りを支援する機器の使用状況を含めて調べた報告は、まだ十分ではありません。

そこで本研究では、当院に入院された患者さんの入院中に、転倒・転落がどのくらい起こっているか、また、どのようなことが関係しているかを、過去の診療情報を用いて調査します。この研究により、身体的拘束をできるだけ最小化し、転倒・転落を防ぐための方法を考えるための基礎資料を得ることを目的としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2025年3月1日～2025年3月31日の間に川崎医科大学附属病院において入院治療を受けられた方を研究対象とします。

ただし、16歳未満の方、2025年3月1日0時0分時点にすでに入院している方は対象となりません。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2028年3月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において入院治療を受けられた方で、研究者が診療情報および転倒・転落の情報などを基に、入院患者の転倒転落に関する要因の分析を行います。

4) 使用する情報の種類

診療情報から年齢、性別、入院病名、既往歴、要介護度、薬剤に関する情報、転倒・転落に関する情報、せん妄に関する情報、認知症に関する情報、多職種チームによる介入の情報、リハビリテーションの情報等
転倒・転落などの報告(DIA報告)で報告された情報を

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院15階中病棟内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、倫理委員会承認後情報収集、対応表を作成し、2027年1月1日以降に統計解析を開始します。あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 15 階中病棟

氏名:上原 和也

電話:086-462-1111 内線 15240(平日:8時30分～17時00分)

E-mail:uehara-k@hp.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。研究をするために必要な資金をスポンサー(製薬会社等)から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。